

第32回 国際労働問題シンポジウム

ILO (国際労働機関) と日本

——100年の歴史と仕事の未来

● 主催：法政大学大原社会問題研究所／ILO駐日事務所 ● 後援：日本ILO協議会

日 時

2019年 11月11日 (月)
13:30～16:30

会場／交通

大阪市中央公会堂 中集会室

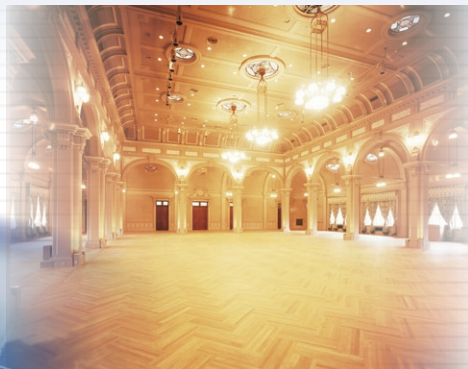
地下鉄御堂筋線「淀屋橋」徒歩5分

地下鉄堺筋線「北浜」徒歩6分

京阪電鉄「なにわ橋」徒歩1分



大阪市中央公会堂



中集会室

ILOは、第一次世界大戦後の1919年、「世界の永続する平和は、社会正義を基礎としてのみ確立することができる」との信念のもとに誕生しました。政府・使用者・労働者の代表からなる三者構成の国際機関として、世界の人々の仕事と暮らしに大きな影響を与えています。

大原社会問題研究所は、ILOと同じ1919年に大阪で誕生し、1937年に東京に移転するまで、20年近く大阪で活動しました。初代所長の高野岩三郎は、第1回ILO総会の労働者代表をめぐる問題で東京大学を辞職した後、大阪で労働問題研究や労働者教育に携わりました。

2019年は両機関の創立100周年にあたります。第32回国際労働問題シンポジウムは、開館101周年を迎えた大阪市中央公会堂を会場に、ILOと日本の100年の歴史を振り返り、仕事の未来を展望します。

主催者挨拶

2019年第108回ILO総会について

基調講演

「ILOと日本」

吾郷真一

立命館大学衣笠総合研究機構教授／
九州大学名誉教授／ILO条約勧告適用専門家委員会委員

個別報告

「ILO第1号条約と労働時間問題」

石井 聡

近畿大学経済学部教授

「国際労働会議代表問題と大原社会問題研究所」

榎 一江

法政大学大原社会問題研究所教授

パネル・ディスカッション

吾郷真一／石井 聡／榎 一江

モデレーター 田口晶子 (ILO駐日代表)

お申込み▶ 10月21日(月)までに「国際労働問題シンポジウム」と明記の上、下記のいずれかにお申し込みください。

法政大学大原社会問題研究所

Faxかメールにて氏名、ご所属、連絡先をお知らせください。

Fax: 042-783-2311

E-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

OISR
since 1919

ILO駐日事務所

右コードのフォーマットに、氏名、ご所属、メールアドレスを送信してください。

HP: <http://www.ilo.org/tokyo/>

Twitter: @ILO_Tokyo

